

各校卓球部顧問の皆さまへ

アドバイスルールの変更について

徳島県高等学校体育連盟卓球専門部
専門委員長 岡 本 英 二

日頃は、県高体連卓球専門部の運営にご協力くださりありがとうございます。

さて、7月30日に令和7年度全国高体連卓球専門部第1回理事会並びに評議員会が開催され、全国高校総体並びに全国高校選抜でアドバイスルールの変更を行うことが承認されました。それに伴い、今後の県高体連主催の大会（高校総体・高校選抜）についても、全国大会と同様のルールで競技を行いたいと思います。ご理解のほど、よろしくお願いします。全国高体連卓球専門部からの文面は以下の通りです。

● アドバイスルールについて

アドバイスルールの変更理由

高校生は、ITTFルールを採用する世界大会や、全日本選手権一般の部をはじめ、各種オープン大会に多く出場し、一般のルールで試合をすることが多くなっている。また、注意指導を与えても指導に従わない、もしくは指導ができないぎりぎりのアドバイス、更にはサイン・ジェスチャーなどがあり、強く不満を抱いている監督・選手がいる。このようにルールを守った監督・選手が不利益を被っている現状が多々ある。そのため、大会においてアドバイスルールを変更することで、より公平な状態で対戦可能となるよう、令和7年度の全国高校選抜（新潟大会）から高体連特別ルールを適用する。

〔現行〕

高校生以下の大会では、競技者はゲームとゲームの間の休憩時間、あるいは認められた競技の中断時間のみアドバイスを受けることができる。

〔変更〕高体連特別ルール

競技者は、アドバイスによって競技が遅れさえしなければ、ラリー中を除いていつでもアドバイスを受けることができる。

※アドバイスルールの変更については、日本卓球ルール外の高体連特別ルールとして令和7年度の全国高校選抜（新潟大会）から適用することになります。全国高校総体並びに全国高校選抜以外の都道府県大会及びブロック大会等で、この高体連特別ルールを適用するか否かは、各種団体で判断してください。

特に全国高校選抜大会に関しては（公財）日本卓球協会主催となっており、各ブロック大会や各都道府県大会において今回の高体連特別ルールを適用する場合は、各協会・連盟ごとの連絡・了承が必要となりますので、よろしくお願いします。

この内容に基づいて、今後の高体連関係の大会については、変更後の高体連特別ルールを採用します。